

第4章 産業経済

第1節 農 林 業

1 農業委員会

本委員会は18人（定員19人）の農業委員で構成され、月1回（年12回）の定例総会を開催し、農地法の規定による届出書、許可申請書等の審査及び農業に関する諸問題を協議した。

また、22人（定員22人）の農地利用最適化推進委員が農地の集積、集約化の推進を図るため現場主導の委員として活動した。

このほか、広報活動として「農業委員会だより」を3回発行した。

(1) 主な委員会活動

ア 農地法にかかる許認可事務

イ 農業委員、農地利用最適化推進委員改選事務

ウ 農業経営基盤強化促進法に基づく経営規模拡大のための農地利用集積の推進

エ 農地法に基づく無断転用防止対策及び指導並びに遊休農地解消対策に基づく農地パトロールの実施

オ 農業者年金加入推進及び給付手続並びに受給者現況届出事務

(2) 農地法に関連した申請

項 目		件 数	面 積			
			田	畑	計	
農地法第3条	許可	所有権移転	27 ^件	66.0 ^{アール}	369.5 ^{アール}	435.5 ^{アール}
		使用貸借・賃貸借権設定	13	116.2	125.2	241.4
		生前一括贈与	7	88.3	102.5	190.8
第4条	届出	43	43.3	129.7	173.0	
	許可	8	24.5	1.2	25.7	
第5条	届出	112	120.5	311.0	431.5	
	許可	44	112.9	136.6	249.5	
小 計		254	571.7	1,175.7	1,747.4	

項 目	件 数	面 積		
		田	畑	計
計 画 変 更	件	アール	アール	アール
農業経営基盤強化促進法による計画申請	284	1,035.9	7,295.8	8,331.7
非農地現況証明	6		389.1	389.1
農地法第18条第6項の通知	2	25.7		25.7
買受適格者証明（競売）	4	11.1	4.1	15.2
相続税・贈与税の納税猶予制度にかかわる適格者証明	5	10.2	49.2	59.4
農地法関係証明	139	—	—	—
農地転用事実確認証明	11	—	—	—
国有農地管理事務取扱	18		28.5	28.5
小 計	469	1,082.9	7,766.7	8,849.6
合 計	723	1,654.6	8,942.4	10,597.0

(3) 農業者年金の状況（令和3年3月31日現在）

新農業者年金被保険者 9人

旧農業者年金被保険者 11人

農業者年金受給者 237人

2 農業振興事業

従事者の高齢化、後継者不足、荒廃農地の増加などの厳しい環境の中で、農業振興を図るため、認定農業者制度や農地利用集積を推進することで、意欲ある農家の育成に努めるとともに、中山間地域における荒廃農地の発生を防止し、農地の多面的機能を確保するため、中山間地域等直接支払制度による補助等を実施した。

また、学校給食における地場産品の利用促進、「高校生による沼津の地産地消メニューコンテスト」の実施、「沼津Local Food Meeting」のホームページ開設や沼津港マルシェの開催支援などの地産地消に取り組んだ。

事業名	事業費	補助金	概要
中山間地域等直接支払制度実施事業	17,528 千円	17,356 千円	集落協定 9集落
地産地消総合推進事業	4,183	3,858	<ul style="list-style-type: none"> 沼津Local Food Meeting事業 高校生による沼津の地産地消メニューコンテスト ほか
沼津の農産物振興事業	2,686	2,057	<ul style="list-style-type: none"> 沼津茶消費拡大推進事業 みかん品種転換促進事業 ほか

3 林業振興推進対策事業

森林の有する多面的機能が持続的に発揮される森林整備を推進した。

香貫山、千本松原、戸田生活環境保全林は保安林としての機能維持、さらには生活環境保全機能を有した森林として、市民の保健・文化・教育的な利用に供することを目的に管理を実施した。また、造林、間伐等林業事業を実施している戸田森林組合及び愛鷹山森林組合に対し、補助を行った。

さらに、森林整備を促進するため、森林環境譲与税を活用し、間伐等を実施した。

4 林道整備事業

森林資源の保全と林業振興を図るため、林道整備事業を実施した。

区分	事業費	概要
林道整備事業	18,546 千円	林道空洞線改良工事 139.5m ほか

5 松の材線虫防除事業

松の材線虫による被害の拡大を防止するため、松林の枯損木の除去、薬剤散布等を実施した。

事業費	35,167千円	
地上散布	千本松原ほか	延べ230.6ha
薬剤樹幹注入	千本浜公園ほか	2,985本
枯損木除去	22.0 m ³	

6 有害鳥獣等対策事業

野生鳥獣による農林業被害に対し、沼津市鳥獣被害防止計画に基づき、有害鳥獣捕獲を実施するとともに、沼津市鳥獣被害対策実施隊による、実効性の高い被害防止対策を行った。

また、有害鳥獣による農作物の被害を防止するため、有害鳥獣防護柵等の設置に係る補助を行うとともに、狩猟免許の取得に係る補助を行った。

7 畜産振興事業

畜産業に起因する環境問題対策を推進するため、死亡獣畜処理事業及び畜舎一斉防除事業に対する補助を行ったほか、畜産物の安全性確保のため、自衛防疫事業を実施した。

(1) 畜産業振興推進対策事業

事業名	事業主体	補助金	概要
死亡獣畜処理事業	畜産農家	143 ^{千円}	成子牛 3頭 牛 12頭
畜舎一斉防除事業	南駿農業協同組合	201	受益農家数 8戸

(2) 自衛防疫事業

(単位 頭)

家畜種類	内容	実施数
牛	流行熱・イバラキ病混合予防注射	77
牛	異常産3種（アカバネ病含む）混合予防注射	74
牛	伝染性鼻気管炎6種混合予防注射	124
牛	牛下痢5種混合予防注射	36
豚	日本脳炎・パルボ混合予防注射	20
計		331

第2節 土地改良事業

農業基盤整備により生産性の向上を図り、農業経営の安定に資するため、国及び県の補助事業、市の単独事業等を実施した。

1 国・県補助事業

区 分	工 種	事 業 費	概 要
団体営ため池等 整備事業	ため池 農道	千円 14,718 7,018	沼川水門扉体撤去工事 施工延長 一式 36.0m

2 市単独事業

区 分	工 種	事 業 費	概 要
改 良	頭首工 ポンプ 浚渫 農道	千円 5,918 2,695 2,629 2,596	施工延長 ポンプ更新 施工延長 施工延長 25.0m 1基 133.5m 20.0m
維 持 補 修	農道 水路 浚渫 ポンプ その他	11,712 9,297 3,275 726 842	大塚地内用水路修繕工事ほか 64件
工 事 材 料 支 給	農道 水路	9,522	生コン 砕石・RB材 アスファルト合材 94.5m ³ 871.0m ³ 19.0 t ほか
そ の 他	その他	6,877	委託、負担金、補助金 ほか

3 県 営 事 業

区 分	事 業 費	負担金等	概 要
県単独農業農村整備調査事業	10,000	2,500	西浦みかん江梨西部地区、 浮島北部地区
畑地帯総合整備事業	914,000	182,800	重須地区 西浦みかん（江梨、東部、 足保久料、立保古宇）地区
ため池等整備事業	24,500	372	沼田新田地区
水利施設整備事業	308,400	31,004	大平徳倉排水機場、浮島排 水機場、沼津西部排水機 場、松毛川排水機場
地域用水環境整備事業	40,000	500	灰塚地区
耕作放棄地解消事業	2,000	400	原浮島地区

第3節 水 産 業

水産業の活性化と振興を図るため、出漁促進事業などへの補助及び漁港施設の整備事業を実施した。

1 水産業振興事業

事業名	事業主体	事業費	概要
漁業近代化資金 利子補給事業	静岡県信用漁業協同組合連合会 (沼津支所)	千円 2,361	利子補給 29件
水産物流通 促進事業	沼津魚市場株式会社	2,765	水揚奨励
出漁促進事業	沼津魚市場株式会社 静岡漁業協同組合	14,765 1,140	出漁奨励

2 漁港施設整備事業

(1) 県営漁港事業

事業名	事業費	負担金	概要
静岡漁港整備事業	千円 44,600	千円 10,200	水産物供給基盤機能保全事業 獅子浜岸壁長寿命化工事 緊急自然災害防止対策事業 道下護岸消波ブロック設置工事
戸田漁港整備事業	30,000	6,000	水産物供給基盤機能保全事業 大浦岸壁・入浜防波堤長寿命化工事 ほか

(2) 市営漁港事業

事業名	事業費	概要
漁港維持事業	3,077 ^{千円}	西浦漁港係留付属設備修繕工事 ほか
市営漁港機能保全事業	108,805	水産物供給基盤機能保全事業 木負3号船揚場改修工事 ほか 重寺8号護岸改修工事 ほか

第4節 商 工 業

1 中小企業金融対策事業

中小企業の健全な育成に資するため、その事業活動に必要な資金を貸し付けた金融機関等に利子補給金を交付し、事業資金の融資の円滑化を図った。

制度名	利子補給額	年度中貸付実行		年度末貸付残高	
		件数	金額	件数	金額
小口資金利子補給	11,232,546 ^円	32 ^件	87,810,000 ^円	466 ^件	787,785,700 ^円
近代化資金等利子補給	447,671			15	105,704,000
短期経営改善資金利子補給	1,232,029	106	668,268,000	37	237,144,000
計	12,912,246	138	756,078,000	518	1,130,633,700

○小規模事業者経営改善資金（マル経融資）利子補給

沼津商工会議所又は沼津市商工会の推薦を受け、日本政策金融公庫から小規模事業者経営改善資金（マル経融資）を借り受けた市内小規模事業者に対し、利子補給を行った。

補給件数 21件 補給額 859,322円

○開業パワーアップ支援資金等利子補給

静岡県が実施する開業パワーアップ支援資金又は日本政策金融公庫が実施する新創業融

資制度による資金を借り受けた創業者に対し、利子補給を行った。

補給件数 20件 補給額 650,632円

2 商工業振興事業

事業名	事業内容
まちなか賑わい創生事業	各種団体等が市街地エリアで行うイベント等の補助を行う「まちなか賑わい委員会」の運営を支援した。
狩野川にぎわい創出事業	「沼津上土町周辺狩野川河川空間利用調整協議会」と連携し、上土町周辺の狩野川右岸階段堤の利用促進に向けた取り組みとして、「水辺のステージ」などのにぎわい事業や情報発信等を行った。
ぬまづまちあるきマップ推進事業	中心市街地と沼津港のまちあるきを楽しむため、親しみのもてる手書き地図を配架し、webでも閲覧可能とするなどの情報発信を行った。
まちなか商業ブランディング推進事業	個店の魅力を高めるためのノウハウを学ぶ「リブランディング企画塾」を開催したほか、まちなかの商業PR冊子「NUMAZUまちの感触」を製作し、エリアの魅力向上と情報発信を図った。
沼津新仲見世商店街街路灯改修支援事業	沼津新仲見世商店街管内にある既存の照明器具を撤去し、新たにLED照明灯を設置する改修工事を支援した。
飲食店等事業者支援事業	市役所玄関前ピロティなどを活用したテークアウト販売会を開催したほか、テークアウト情報等を観光ポータルサイトに掲載するなど事業者を支援した。
伝統技能体験事業	大工、左官、板金などの伝統技能の披露及び子どもを対象としたものづくり体験を行った。
ニュービジネス創出事業	中小企業が「経営革新計画」に基づいて行う新技術や新サービス等の開発・販路開拓に要する経費の一部を支援した。
商工業振興ビジョン策定事業	本市経済の早期回復と、更なる商工業振興を図るため、商工業振興に係る課題を整理し、今後の施策の方向性を明らかにすることを目的として、「沼津市商工業振興ビジョン」を策定した。

3 起業創業支援事業

事業名	事業内容
中小企業支援センター運営事業	創業や経営改善のサポートを目的に専任のコーディネーターを配置し、指導や情報提供などを行う沼津地域中小企業支援センターの運営を支援した。
知的財産活用事業	企業の技術移転や特許活用を促すため、知財活用コーディネーターを配置し、知的財産権にかかる相談対応や情報提供を行う取り組みを支援した。
創業セミナー開催事業	スモールビジネス・ソーシャルビジネスに取り組む人や起業を志す人を対象としたセミナーを開催し、起業者の増加と継続的な事業活動の活性化を図った。

4 企業立地促進事業

事業名	事業内容
企業立地促進事業費補助	一定規模以上の用地を取得して工場等を設置し、雇用を拡大した企業に対し、補助金を交付した。 補助件数 7件 補助額 342,242,000円
中小企業設備投資促進事業費補助	建物の新增築と機械設備の導入を行い雇用を拡大した企業に対し、補助金を交付した。 補助件数 6件 補助額 54,416,000円
ITオフィス等進出事業費補助	市内に新たに賃借によりITオフィス等を開設した企業に対し、補助金を交付した。 補助件数 5件 補助額 5,245,000円

5 イーラde管理運営事業

イーラde（大手町地区再開発ビル）の市保有床（商業床・駐車場床）の財産運用収入を財源に、沼津駅周辺総合整備基金への繰出しや保有床の管理運営に係る経費等を負担した。

6 各種商工業団体補助金

(単位 千円)

交 付 件 名	交 付 先	金 額
沼津商工会議所運営費補助金	沼津商工会議所	6,840
沼津市商工会運営費補助金	沼津市商工会	5,130
沼津市商店街連盟運営費補助金	沼津市商店街連盟	2,078
沼津中小企業相談所運営費補助金	沼津商工会議所	2,078
沼津市物産振興事業費補助金	沼津市物産振興協議会	1,500
そ の 他 の 補 助 金	3件	1,003

第5節 労働

1 技能功労者表彰

55歳以上で30年以上同一職業に従事し、現在も第一線で活躍している技能優秀かつ後進の育成など、功労顕著な技能者の第45回表彰を行った。

○表彰職種 建築大工職ほか13職種

○被表彰者 27人

2 勤労者教育資金利子補給事業

勤労者の経済的負担を軽減するため、勤労者が静岡県労働金庫から借り受けた子弟の大学等への就学資金に対し、その利子の一部を補給した。

○補給件数 421件

○補給額 2,715,822円

3 勤労者住宅建設資金利子補給事業

勤労者の住宅取得を支援するため、勤労者が静岡県労働金庫から借り受けた自家の新築及び増改築資金等に対し、その利子の一部を補給した。

○補給件数 2,010件

○補給額 24,399,901円

4 勤労者育児支援資金利子補給事業

勤労者の育児支援をするため、勤労者が静岡県労働金庫から借り受けた育児休業中の生活費、育児に必要な家具等の購入費用、出産にかかる費用、その他子育てに要する費用に対し、その利子を補給した。

○補給件数 86件

○補給額 451,638円

5 就職支援

市内企業の安定した雇用の確保と、市内外の求職者の市内企業への就労を促進するため、沼津しごと応援サイト「ぬまjob」を運営した。また、若年者や女性の就労支援として、就労支援

員による就職相談やアフターフォローによる早期離職防止など、伴走型支援を行うキャリアデザイン相談センターを設置したほか、若年求職者を対象とした、市内中小企業の参加による合同就職面接会を開催し、雇用のマッチングを図った。

6 奨学金返還支援

学生の市内企業への就職及び本市への定住を促進するため、市内中小企業に就職し、かつ市内に居住した勤労者に対し、日本学生支援機構の奨学金返還金の一部を補助した。

○補助件数 8件

○補助額 761,159円

第6節 にぎわい・観光

都市の活力を高めるための仕掛けとして、本市の宝である沼津御用邸記念公園開園50周年を記念するイベントの開催など、豊かな地域資源を活かした観光の振興等により、本市魅力の発信に努めた。また、平成18年3月に策定した「観光振興ビジョン」については、さらなる観光振興に取り組み、地域経済の活性化などを図っていくため、改定を行った。

1 観光宣伝

広報ぬまづ、市ホームページ、SNS等による観光情報の提供、観光パンフレットの発行及び旅行雑誌、テレビ、ラジオ、新聞等のマスメディアに加え、東京デスクを活用し、主に首都圏在住在勤者を対象に本市の魅力のアピールに努めた。さらに、外国人旅行者に向け、英語版観光ポータルサイトを新たに立ち上げたほか、中国語版総合観光パンフレットを新規作成し、旬で有用な観光情報の発信に努めた。

また、本市が舞台のアニメ作品と連携した市内高校生によるダンスコンテストを開催し、高校生が多く活力あるまちのPRを行った。

2 観光行事

沼津御用邸記念公園において、同公園開園50周年記念イベントを開催し、10月10日から11月22日までの期間中、宮内庁所蔵品の展示などを行い、皇室ゆかりのまちとしてのPRを行っ

た。さらに、日本の伝統文化などを通じて本市の魅力を発信する「松籟の宴2020」を11月3日から15日までの13日間開催した。

3 海水浴場

大瀬、御浜の市内2か所の海水浴場を開設し、8月1日から8月16日までの16日間、監視所を設置し、水難事故防止と負傷者の救護に努めた。

4 観光施設

本市を訪れる観光客に観光地等の適切な情報を提供するため、観光案内板の改修を行った。

なお、本年度は沼津港水門展望施設「びゅうお」において、展望棟他防水改修工事を実施した。

また、「我入道の渡し船」は沼津我入道漁業協同組合が、沼津港水門展望施設「びゅうお」はNPO法人沼津観光協会が、「戸田はかま滝オートキャンプ場」は戸田森林組合が、「くるら戸田」は呉竹荘&サン共同事業体が、それぞれ指定管理者として観光施設の管理運営を行った。

5 多目的展示イベント施設

プラサヴェルデ運営共同事業体が、指定管理者として多目的展示イベント施設「キラメッセぬまづ」の管理運営を行った。

6 コンベンションの誘致

国内外の各種コンベンションを誘致し、県東部地域の交流人口の拡大と地域経済や観光産業等の活性化を推進している静岡県東部地域コンベンションビューローの活動を支援した。

また、プラサヴェルデでのコンベンション開催を促進するため、主催者1団体に対する支援を行った。

7 アスクラロ沼津に対する支援

本市を拠点に活動するJ3所属のプロサッカーチームであるアスクラロ沼津に対し、ホームタウンとして、マッチデースポンサーのほか、ホームタウン活動などへの支援や、現ホームスタジアムである愛鷹広域公園多目的競技場のJリーグ基準適合における技術的課題解消に向けた調査を実施した。

8 フェンシングのまちづくり

フェンシングを通じて賑わいのあるまちづくりを目指し、「フェンシングのまち沼津」のブランド形成に向けた取組を推進するため、6月に官民連携の協議会である「フェンシングのまち沼津推進協議会」を設立した。

また、全国規模の大会である「Proud NUMAZU CUP フェンシング選手権2020 小学生大会」を開催したほか、キラメッセぬまづを主な会場に、7月にサーブル、エペ、フルーレの全種目の男女チームが1週間ごと来沼した日本代表合宿をはじめとして、12月上旬、2月下旬から3月上旬にかけての日本代表女子フルーレチームなどの合宿を受け入れた。

9 サイクルツーリズムの推進

県東部・伊豆地域において東京2020大会の自転車競技が開催されることを踏まえ、本エリアへの更なるサイクリスト誘客のため、スポーツ自転車のレンタル事業やサイクリングコースの発信などを行った。

また、NUMAZUサイクルステーション静浦東スキルパークや、愛鷹MTBパークにおいて体験イベントを開催し、ロードサイクリングのみならず、BMXやMTBなど、様々なサイクルアクティビティが楽しめる本市の魅力発信に努めた。

10 近隣自治体との連携

(1) オリンピック・パラリンピックに向けた取り組み

東京2020大会に向けて、県及び近隣市町と連携した自転車競技などの機運醸成を図るイベントの開催、事前合宿に関する準備、調整作業などを進めた。

(2) 狩野川周辺サイクル事業推進協議会

沼津市、伊豆市、伊豆の国市の3市で構成し、狩野川周辺のサイクリスト誘客に向けた利活用及び地域振興の推進に取り組んでいる。

本年度は、専用アプリを活用した周遊イベントを開催し、コロナ禍にも対応した仕立てでサイクリストの誘客を図ったほか、静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会との共同事業により県東部地域のサイクル環境の魅力PR冊子を製作した。

(3) 静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会

県東部の20市町、民間企業、産業支援機関等で構成し、スポーツによる地域経済の活性化を目指し、スポーツツーリズム商品の開発やスポーツイベント・合宿誘致活動などの事業に取り組んでいる。

本年度は、サイクリングガイドの育成や、MTBの普及促進、情報発信などを行った。

(4) 山梨県南アルプス市との連携

「バイ・ふじのくに」の取り組みを契機とし交流が深まった山梨県南アルプス市と連携し、双方の市に出向いて、特産品の販売促進や観光PR等を行うなど、連携強化を図った。